

名城大学に寄贈しました

産業工芸科の生徒が、身に付けた木材加工の技術が誰かの役に立つことを願い、また、コロナ撲滅に貢献できることがしたいということで、足踏み式消毒台の製作に取り組みました。消毒台の木材は名古屋市南区にある宮大工の匠心工務店様より寄附していただいたものを使っています。

このたび名城大学に寄贈させていただいたところ、名城大学のホームページに載せていただきました。



The screenshot shows a news article on the Meijo University website. The title is "木製のやさしい手触り" (Wooden gentle touch). The text describes how a student-made wooden foot-operated disinfectant stand was donated to the university. It mentions that the stand is 1m high and has a soft touch, and that it was placed in a faculty office. The article also notes that the student made it to help prevent the spread of COVID-19. There are two photos: one showing the stand in a hallway and another showing it in a faculty office.

MEIJO UNIVERSITY ニュース 入試情報 学部・大学院 学生生活 就職・資格 大学概要 +MORE

木製のやさしい手触り

名古屋高等学校(名古屋市千種区)の高等部専攻科(産業工芸科)2年生が作った足踏み式消毒スタンド1台が天白キャンパス共通講義棟北2階の学部事務室前に置かれています。

木製で高さ1mほど。丁寧にかんがえてあり、何とも言えない柔らかい手触りです。経済学部経済学科の伊藤志のぶ教授が運られ、消毒液ともに設置されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に協力したいという生徒たちの思いがこもっています。事務室に立ち寄った際は足踏みの感覚を試してみてください。

名古屋高等学校から運られた足踏み式消毒スタンド

天白キャンパス共通講義棟北2階の学部事務室前



私たちが心を込めて作りました。



URL はこちら https://www.meijo-u.ac.jp/news/detail_27034.html